



「検査と健康展 in 一関」のご案内



開催日時：2019 年 11 月 3 日（日）

10 時～15 時 最終受付：14 時 30 分

場 所：一関コープ コルザ 催事場

内 容：①測ってみよう、肺年齢・血糖値

②キッズコーナー

- ・わんこきょうだい「おもっち」と遊ぼう
- ・顕微鏡をのぞいてみよう
- ・バルーンアート体験



(い わ て)

公益事業がん予防啓発活動 あっぴりレーマラソン 2019

あっぴりレーマラソン 2019 に参加して

岩手医科大学附属病院 千枝 貴幸

9月8日に開催された、あっぴりレーマラソンに今回初めて参加させていただきました。

経験者からハードなコース設定だとは聞いていましたが、後半の上り坂はなかなか進んでいる感じがなく、心身ともにかなり堪えました。また天候に恵まれすぎてしまい、30℃を超える暑さの中でのマラソンでしたが、熱中症になったりケガをするメンバーもなく無事に完走することができてよかったです。走り終えた後には、牛・豚・羊とバリエーション豊かな焼肉、通常のソース味とカレー風味の焼きそば、サルサソースで食べるトルティーヤなど、サポートメンバーの方々による工夫の凝らされたメニューでお腹も心も満たされました。参加メンバーの皆さん本当にありがとうございました。

また大腸癌予防啓発活動として、競技前に検診を呼びかけるトイレットペーパーを周りの参加チームへ配布したり、被り物をして走ってくれたメンバーもいたので、十分なPR活動ができたと思います。

来年も参加させていただき、様々な職場の方と交流を図っていきたいと思いました。スポーツが好きな人は選手として、BBQ好きな方や他施設の方との楽しい交流が目的の方はサポートメンバーとしての参加をお待ちしております。



岩手県立遠野病院 菊池英岳

それは真夏のような日差しが照りつける9月8日、岩臨技の公益事業として安比リレーマラソンで起きた。そこにはアラ還の3人(K、A、A)が出ていた。彼らは成績よりタスキをつなぐことを使命として懸命に走った。結果は予想通りだったが、そのあと救世主が現れた。彼は過去に岩臨技に所属していて知る人ぞ知る人だった。

当日会場にいた戦隊ヒーロー岩ライザーにあやかって、石(こく)ライザーと呼ばせてもらう。彼の功績はアラ還3人組の遅れを挽回するどころか、チームにとってこれまでにない好成績を生む原動力となった。彼は日差しが強まる後半からの出番にもかかわらずチーム最多の周回を走り、レース中のタブーも打ち破り結果を残した。わたしは今回のレースで現実を思い知らされたが、団体競技のおもしろさも知った。

レース前には大腸がんストップのグッズのトイレットペーパーを配り、全ての人から好評価を得た。中には、「これで大腸がんが分かるんですか」という珍反響もあった。参加されたみなさんお疲れ様でした。来年もこの会場で会って、いい汗かきましょう。



県立遠野病院 菊池英岳さんよりご寄稿いただきました。

オープンホスピタル In 遠野 開催報告

7月13日（土）、県立遠野病院でオープンホスピタルが開催されました。

目的は、震災復興状況と、より地域に根差した病院を目指すため各職種ごとにブースを設けて紹介をしながら住民の皆様には体験をとおして理解してもらうことでした。

検査では、顕微鏡を覗いてもらうことと、エコー検査の体験でした。

当日は子供から大人まで約120人の方々に来ていただき、検査だけではなく各職種のブースも体験してもらいました。顕微鏡をはじめて覗いたとか触ったとか、エコーでは20人くらいが体験でき動いている自分の心臓を見てもらい超音波検査について理解してもらうきっかけになりました。

そのほかでは、白衣のコスプレ体験や骨密度測定など病院ならではの体験コーナーもあり盛況でした。

住民の方々とそれぞれのブースでの体験を通して敷居を低くすることができました。今後このようなイベントが各地で行われる予定ですので、各地の状況教えてください。



令和元年度第3回理事会議事録

日 時： 令和元年 9 月 28 日（土曜日）14:00～

場 所： 岩手医科大学付属病院 循環器センター3 階 会議室

出席者： 行森良一 菊池英岳 畠山秀樹 川村将史 高橋一博
宮本祥一 熊谷正邦 高橋庸一郎 村上美月 小野寺絵美
岡田進 井上幸男 下川波歩 山崎勝登志

はじめに（行森）

医大のほうも矢巾に移り本格的に稼働しつつありますが、現在のところ患者が少なめで慣れる意味では良いのかなという感じで、病棟の稼働率は昨日の時点で 23% でありこれから多くなりますが、今後とも内丸と矢巾のほうをよろしくお願いいたします。

I. 報告事項

令和元年度 北日本支部幹事会について（行森）

今回福島県郡山市で開催された幹事会について議事録の概要記録を見ながらの説明があった。

議題として

令和元年度の学術活動、支部研修会等について、令和 2 年 9 月 26・27 日北海道の臨床検査技師学会が追加されたことが報告された。

学術部門員の変更について、今週末に北日本の幹事会があり最終決定となる。

他の県で修正があるかもしれないが、岩手県の内丸と矢巾に別れた部門長の変更届は提出済みである。最終決定したものについては次回の理事会で報告予定である。

令和 2 年度 第 69 回日本医学検査学会について、各県毎の抄録エントリー依頼数について岩手県は最低限 10 演題ということで各地区（盛岡地区 4 題その他の地区 2 題）に提出していただくこととした。演題エントリーは 9 月 1 日から 11 月 1 日まで。北日本からの一般演題目標数は 180 題である。また宿泊場所の確保が困難なため早めの予約が必要とのこと。スキルアップ研修会、特別講演、超音波ハンズオン、教育講演 13 題、シンポジウム 13 から 14 題予定している。

第 8 回北日本支部医学検査学会について、来週開催されるが居鶴山技師会長からの報告があり一般演題は 104 題で座長は振分けし各道県に事務局でお願いしている。プログラムは来週はじめに各施設に到着予定。今回岩手県からは 1 題のみのエントリーで開催県山形は 30 演題（全演題数の 29% を占めている）ということで、来年の開催県としては 30 前後の演題を目標（全演題数は 100 題を目標）とし、来年日本医学検査学会が北日本で開催されることもあり若干エントリーが少なくなることが予想されるので今のうちから声掛けをしていただきたい。

令和元年度初級・職能開発講習会について、既に昨年岩手県で開催されたが今年度は青森県で開催されることが決定した。

学術部門体制について、宮城県の藤巻技師会長から支部研修会の北海道と東北の分離開催についてと支部の部門長の選考についての議題提示があり、支部の部門長に関して長年同じ方が部門長をすることによって運営がうまくいっていないということが取り上げられており、選考について来週開催される幹事会で意見集約をするということである。研修会の参加者名簿について、学術部長が開催県別、参加道県別で作成することが決定した。

II. 各事業について

1) 総務部(菊池)

毎年登山の計画をしておりましたがなかなか予定が立たず、今のところ1月13日あたりに陸前高田の氷上山(沿岸は雪があまり降らず降っても落ち葉の上にサクッと降る程度で、氷上山は初級者でもいける山です)を予定している。

2) 学術部(畠山)

11月17日に岩手県医学検査学会があり、抄録集作成も進んでいる。

精度管理事業も例年通り実施する。研修会等行事も活発に行っている。

3) 公益部(川村)

9月8日に大腸がん啓発予防活動としてあっぱりレーマラソンに参加した。天候もよく20名弱の参加で今年はブレイブサークルより大腸がんの検診について書かれているトイレットペーパーを100個購入し配布した。配布した感想として『大腸がん検診をしています』という声が聞かれ、大腸がん検診は県民の方々に浸透してきている感じで良かったと思われた。成績については例年90位や100位くらいであるが今年は都臨技からの参加者がおり30位くらいと速かった。

11月3日に検査と健康展をコープ一関コルザで開催する。磐井病院の技師と研修医の先生に来ていただき検査説明をおこなう。現在南部地区の皆様にスタッフ募集をかけている。盛岡地区から理事の方々に出席できるかどうか本日確認する。(基本南部地区のスタッフがメインで無理に業務調整はしなくても良いです)アナウンスとして地域の広報に掲載させていただくのと10月22日一関のラジオで午前中PR放送を予定している。一関市と一関医師会から後援がとれている。コープ一関コルザの1階スペースを拝借するが前回の会場より縮小されるためわんこ兄弟の脱衣は外にテントをたてて行う予定。また、どの施設に行ってもパーテーションがなく、検査説明の際ついたてが必要であることと、ラミネートした資料を添付できるということでパーテーション(診察室にあるような布製の)を5個購入した。今回肺年齢測定器はフクダ電子から2台(1台10,000円)借りることにした。血糖測定器は5台、オリンパスの顕微鏡を使用。南部地区の提案で高血圧予防(減塩食等)のブースを設け、生協にある減塩食品はどのようなものがあるかを展示する予定。スペースが狭

(い わ て)

いが大丈夫かどうか来週会議に行ってくるので会場を下見してくる。事務局に健康展のパンフレットとクリアファイルとポスター系のものが届いている。(川村公益部長あとで確認)

4) 生涯教育(宮本)

10月いっぱいまでの登録されている研修会は17件で昨年は28件であったので少なくなっている。日臨技の助成をもらえる研修会は10月いっぱいまでで9件で昨年は13件登録されていたのでまだまだ余裕がある状態である。各地区の勉強会や各部門の勉強会が去年までであれば2回目くらいまで終わっているところが多かったが、今年はまだ1回目のところが多い。他県支部や他県開催の研修会は結構ホームページに載っているが、岩臨技主催の事業は昨年と比較すると少ない。(盛岡地区2回と病理くらい)部門長や役員の交代もありうまく進んでない可能性があったので今後がんばって検討するように。ただ期間が決まっているので、会が集中してしまう可能性が否めないで、できるだけ内容の重複はしないようホームページや学術部門長なりに確認しながら内容について検討し申請をサイボーズにあげていただけると随時登録していくので協力のほどよろしく願いたい。

5) 事務局(下川)

日臨技の精度保証施設認証制度について、申請可能な県内の施設一覧が届いている。ぜひ認定を取得してくださいというもので、日臨技の外部精度管理を一定基準満たしていると申請できる。日臨技としては出来るだけ取得するようにということであった。登録方法は9月中旬よりJAMTQCからダウンロード可能である。

災害派遣技師研修会について日臨技で企画しており12月14(土)・15(日)に開催される。推薦とかではなく、申し込み方法は個人で行う。次回の会報発送に同封するが、申し込み締め切りが10月31日であり、締め切り間に合うかどうか微妙であったので今回資料として提示した。

令和1・2年度検査研究部門部門長・各地区の部門員名簿について、三陸地区の確認がなされていないようなので、サイボーズのエクセルファイルに訂正箇所を赤字で修正してコメントを載せていただければと思う。

パソコンを新しくリース契約させていただいた。2台5年契約で8,350円/月。

6) その他

- ・第24回岩手県医学検査学会の進捗状況について(高橋(庸))

抄録は印刷会社を設定するにあたり4社から見積もりをとり、単価や仕上がり速度から北上プリントに依頼することとなった。一部の単価は350円から400円、毎年600部印刷するので、計210,000円から240,000円になる。ちなみに昨年は一部が450円で計270,000円であった。

抄録についての説明

抄録表紙にありますように北上市と北上医師会より後援をいただいている。

会長挨拶の文面ですが、会長に渡した内容に不備があり、国立天文台水沢のあとに「VLBI観測所」が入るのが正式名称とのこと。

(い わ て)

館内案内図について、1階に飲食可能スペースを設け、和室は定員45名程度、飲食可能区域(カフェ)は20名程度になっている(昼食はここでとっていただく)。2階に上がると広いスペースがあり機器展示を予定(5社)講堂は定員243席、会議室は実行委員の控え室になる。

駐車場について、第一駐車場は127台収容であるが不足に備えて第2駐車場(約40台収容)として創価学会の駐車場を借りられるかどうか連絡をとる予定。借りることができたならば実行委員の車は第2駐車場へ置いてもらう。第1駐車場からあふれた車は第2駐車場へ先導し置いてもらう予定。

学会日程について、受付開始が9時30分からとなっており実行委員は8時45分までに会場の前に集合(開館は9時00分)し会場の準備をする。前日の15時より会議室を押さえているので準備できるものは前日に準備しておく。17時までしか講堂を利用できないので遅くとも16時30分には撤去予定である。

一般演題は午前および午後の部各4題。1題につき発表7分質疑応答3分計10分で進行していく。午前中のうちに技術セミナーを開催し1社につき30分から35分程度でデンカ生研(株):感染症や対策についてとアボットジャパン(株):AI関連で診断支援システムについてお話していただく。またこの2社からお弁当を出してもらえることになっている。10月11日振り込み期限ということで岩臨技の口座に振り込むよう請求書を発送している。お昼は4枚つづりのチケットの1枚が引換券になっているのでお弁当と交換する。

公開講演にともない国立天文台からもっと多くの方々に知っていただきたく広報活動を行って欲しいということで10月25日か11月8日の北上広報誌に掲載していただくことになっている。またポスターを作製し北上市や奥州市の市役所や図書館、スーパー、百貨店、各病院に掲示してもらう予定。田崎さんに謝礼として30,000円お渡しするがお金は中部地区で準備し、封筒は事務局で準備する。社名一覧の掲載について、機器展示(5社)は20,000円、広告掲載(14社)は10,000円の協賛金をいただき掲載ページを分けることにした。現在準備の段階で中部地区運営費より90,116円支払っているが岩臨技から入金確認した際もどし運営の準備をしていく。抄録はまだ編集途中であるので見直しをかけ、来週くらいに印刷会社に持っていき印刷してもらい確認する。講演会のポスターはすでにデータが出来ており印刷会社に頼まずプリントアウトする。(中部技師会→中部地区技師会へ修正)

受付にはパソコン2台とバーコードリーダーを使用するので延長コードを準備する。ドラムコードが技師会に3台あるのでもしもの時使用する。展示の機器は学会当日に搬入する。

・第8回北日本支部医学検査学会視察について

参加者は行森会長、菊池副会長、畠山副会長、高橋常務理事、宮本理事、下川事務局長、舘野生理部門長、柴田病理部門長。金曜日に行き土曜日の朝早くから視察をする予定になっているが、見るところとして、受付関係や演題発表、懇親会、式典がメインでその他、特別講演、教育講演があるが視察担当の振り分けを事務局にお

願います。最近の傾向として若手技師の企画が好評を得ており今回の山形での学会でも取り入れられている。岩手でもこのような企画を取り入れていかなければと思われる。学会前日の準備の視察は事務局に確認し了承を得ており、顔合わせ程度に挨拶する。参加費・交通費・ホテル代の領収書を事務局に提出してもらい精算する。また本来は日当が発生するが懇親会に全員出席していただき（次年度開催地の紹介挨拶があるので）懇親会費に日当をあてるという感じにする。

- ・第9回北日本支部医学検査学会について

メインテーマを『融和と協調』とした。融和と協調の内容はホームページ上に表示させ、抄録にも掲載するので理解していただけたと思う。サブテーマとして『じえねしす発端・じえねらる幅広い知識・じえねれいしょん世代』をつけるがレイアウトに関しては山田プランニングに依頼してみる。

山田プランニングからアイーナの10月16・17・18日の会場を押さえてもらい、税込み1,097,210円を今月中に振り込みしてくださいということだったので、学会名の口座を作り2,000,000円岩臨技から前受けて入金し、学会口座からアイーナに入金を済ませた。また来週の視察分の費用はこの口座より引き出す。学会の会計について、現在の会計は2名とも初心者なので前任者にサポートとして入っていただく。（メインは現会計）

特別講演に来年臨床検査医学会の全国大会が岩手で開催されるため忙しいとは思われるが諏訪部先生にお願いしたい。公開講演はどういうものにしたいか各自考えておくように。他職種とのパネルディスカッション等の企画も検討していきたい。

- ・ホームページについて

来年のホームページ更新に向けて(株)ピーぷると宮本理事と畠山副会長とで相談した。現在レイアウト案を作成するためにカテゴリーのところを整理したところなのでそれをもとに(株)ピーぷるで原案を作成していただいている。年内には提示できる予定である。

- ・研修会場の明記について

今後部門ごとの研修会場に岩手医大を使用する際『岩手医科大学』にしてしまうとどちらで開催されるのかわからなくなってしまうので施設名称を細かく明記し住所も載せていただきたい。

- ・サイボーズ権限について

内容は設定の契約であるので、面倒でなければ川村常務理事から事務局に引継ぎをおこなう方向ですすむ。

- ・検査と健康展の会計について

事務局より前受け金として一括で500,000円を渡し事業内容をサイボーズのエクセルファイルに入力し、全て終わったなら領収書と残金を戻していただき事務局で会計ソフトに入力する方向でお願いできないか提案があった。

→前受け金は公益担当者に現金で渡すか口座をつくり入金するかどちらかになるが、組織の口座作成は厳しくなっており、様々な書類や審査が必要である。

(い わ て)

→口座からお金を引き出すためには度々銀行へ出向かなければならないので現金で渡すほうが良いのではないかな。

→今回、試みとして現金を渡す方向でお願いする。

- ・岩手県医学検査学会の会計について

岩手県医学検査学会事務局下川名義、岩手県医学検査学会事務局印で登録した岩手銀行の通帳があるので、次の医学検査学会担当地区に残金を0円にして渡しそこに岩臨技から例えば今年であれば前金として500,000円を振込み、学会会計担当者に報告書をあげてもらい最後に報告書と領収書と残金を返してもらうという方向で事務局と高橋(庸)さんとの話をしていた。印刷製本支出(学会活動支出のなかにある)に抄録集と冊子医学検査が含まれ400,000円計上されているため、一緒に使う必要があり抄録集の費用に関してあらかじめ岩臨技から直接渡し広告費については後程岩臨技に振り込んでいただくことになっている。

- ・精度管理事業の会計について

あらかじめ200,000円を渡し、あとで領収書と収支報告書で返してもらっている。



岩臨技登山同好会からのお知らせです

会員の方から今年は何も企画しないの？と

いう問い合わせが何件ありました。

そこで、今年は暑くもなく台風の影響も少ない時期の1月11日（土）を予定に行いたいと思います。場所は、沿岸南部の標高1000m未満の氷上山を考えています。時期的には冬と思いがちですが紅葉の残骸と新雪が見られるかもしれない貴重な時期です。寒くなり運動不足になりがちの時期ですので一年間を元気に過ごすためにも奮起して行きましょう。復興中の陸前高田の海途中秘境温泉もあります。



詳細についての問い合わせは：遠野病院臨床検査技術科 菊池英岳 0198-62-2222

今回の『つなぐ』は川久保病院 佐藤拓さんです



“つなぐ”



今回、県立胆沢病院の高橋彩さんから引き継ぎました川久保病院の佐藤拓です。高橋さんは高校の同級生で、エコーの学習会で再会しました。ハンズオンで一緒に学習したり、川久保病院では経験できないような症例を教えてもらったりと、とてもありがたい県内で数少ない技師仲間です。

さて、僕のテーマですが、前回の高橋さんから紹介があったように、「ディズニー」についてです。本気のディズニーファン…といいますかオタクみたいな感じです笑。もともとディズニーアニメーションは好きでして、学生時代にディズニーリゾート（TDL）にハマり、もうズブズブと沼に沈んでいます。就職してからは年に4～5回のペースで行っていて、出費がすごいので、今年度からは年間パスポートを購入し、より一層充実し

(い わ て)

たTDLライフを楽しんでいます。ショー・パレード・アトモスフィアショーという存在を知ってから、ミラーレス一眼を初任給で購入しました。エコーと同じで綺麗に写真が撮れるととっても楽しくなってしまう、今ではショー鑑賞の最前を取るために早朝からエントランスに並んで可愛いキャラクターやダンサーさんを撮る日々です。

僕の話はこのくらいにしまして、高橋さんからの指令を遂行します笑。これからパークに行きたい方へ。ご存知の方も多いと思いますが、7月23日からディズニーシーにオープンした「ソアリン：ファンタスティック・フライト」。これはかなり激アツなアトラクションです。幼いころから空を飛ぶことを夢見て、その夢を諦めずに追いかけて続けた発明家カメラア・ファルコさんの空に懸ける想いが詰まったカメラア生誕100周年記念博物館に、彼女の最高傑作「ドリームフライヤー」が展示されており、それに乗ること



ができるのです。時空を超えた空の旅は想像を超える興奮と感動を与えてくれます。アトラクションの前後に拍手が起こることが、ただのアトラクションではないことを物語っていますね。「ハリー Potter みたいな感じでしょう？」と言っている方、全然違いますのでぜひまだ乗っていない方は足を運んでみてください！最大300分程度待ちますが、過去最多(?)の隠れミッキーがいますので、長い待ち時間もなんとか乗り越えられると思います。また、公式アプリの活用でファストパスも取れますのでぜひインストールしてパークを楽しんで頂きたいです。開園10分でファストパスがなくなるので注意です。

10月14日からはランドで新しいキッズ向けプログラム「ジャンボリミッキー」がシンデレラ城前にて始まりますし、来年の4月15日からは新エリアがオープンします。留まるところを知らないTDL。個人的には22年にシーに完成予定のアナ雪のエリアがとても楽しみです。

次回は岩手医科大学附属病院の松村啓汰さんにつなぎたいと思います。松村さんもエコーの勉強会で知り合い、仲良くしてもらっています。業務が変わってエコーしていないとのことでしたが、こういった繋がりを今後も大切にしていきたいですね。お忙しい中急なお願いを引き受けて頂いてありがとうございます。なにかご馳走します。

研修会等のご案内

【岩臨技 輸血・移植部門研修会】

日時：令和元年 11 月 9 日（土） 14：00～17：00

場所：岩手医科大学附属病院 創立 60 周年記念館 3 階研修室

会費：会員 無料 非会員 5,000 円

生涯教育点数：専門教科 20 点

【ECHO TOHOKU 2019】

日時：令和元年 11 月 30 日（土） 13：00～18：00

会場：仙台市中小企業活性化センター 5F 多目的ホール

参加：HP より事前登録・事前支払（参加費 3,000 円）

定員：230 名（先着順）

日本超音波医学会 超音波検査士資格更新対象（参加 5 単位、発表 5 単位）

【日臨技北日本支部 臨床微生物部門研修会】

テーマ『感染症遺伝子検査の Leading edge～もっと微生物検査が好きになる～』

日時：令和元年 11 月 30 日（土） 13：00～17：25

12 月 1 日（日） 9：00～12：10

場所：秋田大学医学部 基礎講義棟 2F 第二講義室

定員：100 名

参加費：会員 5,000 円 非会員 7,000 円

生涯教育点数：専門教科 30 点

【災害派遣技師研修会】

日時：令和元年 12 月 14 日（土） 13：30～18：00

令和元年 12 月 15 日（日） 9：15～12：30

場所：日本臨床検査技師会館（東京都） 3 階 第 1 会議室

定員：60 名

受講料：3,000 円

＊各研修会の詳細は HP 等でご確認ください。

第 24 回岩手県医学検査学会のご案内

日時：令和元年 11 月 17 日（日） 受付開始 9：30～

場所：日本現代詩歌文学館（北上市）

日程：10：00～10：10 開会式

10：10～10：50 一般演題（1～4）

11：00～12：15 技術セミナー

セミナー1（デンカ生研）

「麻疹の最近の話題」～流行状況と感染対策を中心に～

セミナー2（アボット）

「診断支援システム DSS のご紹介」

12：15～13：00 昼食

13：00～13：40 一般演題（5～8）

14：00～15：30 公開講演

国立天文台水沢 VLBI 観測所 特別研究員 田崎 文得 氏

「ブラックホール撮影～プロジェクトの舞台裏～」

15：30～ お楽しみ抽選会

16：00～ 閉会式

* 10：00～16：00 メーカー機器出展展示（2F ホワイエ）

岩臨技ホームページ内の学会ホームページにも詳細が掲載されていますのでご覧下さい。

～編集後記～

じめじめとした夏が終わり、肌寒くすっかり秋らしくなりましたね。朝寒くて布団からなかなか出られなくなってきました。この秋皆様はいかがお過ごしですか？

11 月に県医学会が開催されます。当日に向け準備を着々と進めています。お楽しみ抽選会の景品は岩手の美味しいものを取り揃えました。皆様のご参加心よりお待ちしております。（村）

会報「いわて」第 327 号 2019.10

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：行森 良一

事務局：下川 波歩

編集責任者：村上 美月

山崎 勝登志

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)613-6111 内線 3699 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp